

『初例会 所信表明』

私はこの素晴らしいクラブの 59 期会長を務めさせて頂けることを光栄に思っています。本日は会長の時間をお借りして、用意した所信表明を読ませていただきます。少し堅苦しい話になりますが、ご勘弁願います。

コロナによる制限が無くなった今年度は、ポストコロナ元年と位置付け、歴代会長が提唱してきた会員全員が楽しめる、はじけるようなロータリー活動を目指そうと思っています。すでに例会チームが今年度は生まれ変わった例会を提案してくれています。戸惑う方もおられるとは思いますが、楽しい例会になることを期待しています。

次に、当クラブ伝統の奉仕、親睦活動です。決まっている補助金事業をはじめとして、奉仕活動全般において「参加してよかった」、「楽しかった」「感動した」と思われるような事業を心がけようと思います。チームリーダーは新たな奉仕活動事業の立案をお願いします。親睦活動は楽しいのが当たり前ですが、シニア会員から歴浅の会員まで全ての会員が満足できるよう幹事、親睦委員長と頭を捻っています。楽しみにしてください。この親睦活動を通じて会員相互の連携と友情が育つことを期待しています。

今年度の私のスローガンは「同心協力・前進」です。会員みんなが心一つにして協力しあって、甲子園ロータリークラブを前進させるという意味を込めています。私たちのロータリー活動が成功するためには、会員皆様の積極的な参加と協力が欠かせません。それぞれの専門知識や経験を活かし、アイデアを出し合い、共に行動しましょう。そして素晴らしいプロジェクトを実現し、地域社会に貢献していくために力をお貸してください。

会員増強はクラブを強くし、発展させるためには必須です。コロナ禍の中でも純増を果たした、当クラブです。心配はしておりませんが、広い人脈を持つ会員増強敏腕戦士の方々、贅沢は言いませんと言いながら贅沢を申しますが、純増 5 名うち女性 1 名で総会員数 50 名を目指していただきたいです。会員増強も「同心協力」全ての会員の協力が必須です。私もその一人ですので、入会候補者が現れたら、必要とあらば、いつでもどこへでも駆けつけますので遠慮なく呼びつけてください。もう一つ重要な事業が控えています。今年度は阪神第二グループの IM 当番クラブです。ガバナー補佐を快く引き受けていただきました谷口会員には心から感謝を申し上げます。谷口ガバナー補佐には 1 年間大変な行動義務があります。会員みんながガバナー補佐に協力しましょう。そして天羽 IM 実行委員長がすでに IM の綿密な計画を立て始めてくださっています。御協力をお願いいたします。

来年度は節目の 60 周年です。次年度にうまく繋がるような年度にしようと思っています。研修チームと長期計画委員会には、当クラブの発展と変革を目指して定期的に IM を開き、会員の意見を吸収して、未来へ向けての長期ビジョンの方向性を提案していただければと思います。当クラブとしてロータリーの理念や、奉仕の哲学など「守るべきこと」は守りながら、クラブ運営、奉仕プロジェクト、例会のあり方など「変革しなければならないこと」には大胆にきりこみ、変えていくことが必要かと思われます。そして今年度は長期計画委員会と 60 周年記念準備委員会によるクラブフォーラムが複数回行われますのでこの中でも討論されると思いますので活発に話し合っていたいただきたいと思います。

幹事、副会長、副幹事はもとより理事、チームリーダーそして全会員の方々の力を借りて 1 年間全力で、愛する甲子園ロータリーのために頑張ろうと思います。ご協力お願い申し上げます。

